

割れ籾発生が多い品種は カスミカメムシ類による斑点米被害を受けやすい

福島県農業総合センター 生産環境部
平成18年度農業総合センター試験成績概要

1 部門名

水稻 - 水稻 - 病害虫発生
分類コード 01-01-22000000

2 担当者

松木伸浩・三田村敏正

3 要旨

うるち米奨励品種の割れ籾発生率には品種間差があり、割れ籾の多い品種はカスミカメムシ類による斑点米被害を受けやすい。

- (1) 割れ籾の多い品種は、アカヒゲホソミドリカスミカメやアカスジカスミカメ等のカスミカメムシ類により斑点米被害を受けやすいことが知られている。
- (2) 本県うるち米奨励品種(まいひめ、たかねみのり、ゆめさやか、あきたこまち、ひとめぼ、チヨニシキ、ふくみらい、コシヒカリ)を同一ほ場に作付けし、割れ籾率と斑点米率を調査した。
- (3) 調査ほ場での主要発生種は、アカヒゲホソミドリカスミカメであった。
- (4) 割れ籾率は、たかねみのり、まいひめ、あきたこまち、チヨニシキが高かった。
- (5) 斑点米率は、たかねみのり、あきたこまち、チヨニシキで高く、鈎合部の被害が目立った。
- (6) 割れ籾率の高い品種は、カスミカメムシ類による斑点米被害が大きいと考えられる。

4 その他の資料等

- (1) 植物防疫(2000)54, 309-312
- (2) 山形農事研報(2004)37, 53-78